

## ギニア月報(2021年3月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 3日、新型コロナウイルス中国製ワクチン「シノファーム」20万回分がギニアに到着。
- 5日、新型コロナウイルス中国製ワクチン「シノファーム」の接種が開始。
- 19日、アマドゥ・チェルノ・ディアロ氏が新協力・アフリカ統合大臣に就任。
- 23日、新型コロナウイルス・ロシア製ワクチン「スプートニク V」1万回分がギニアに到着。
- 29日、アフリカ連合から供与された新型コロナウイルス・アストラゼネカ製ワクチン6万9,000回分がギニアに到着。

#### 【外政】

- 1日、コンデ大統領は、チャンバス国連西アフリカ・サヘル事務所長及び国連特別代表と面会。
- 8日、カーティス在ギニア米臨時大使は、野党政治家マモドゥ・シラ氏と面会し、拘束されている野党党员及び国内の人権問題に関し、意見交換を実施。
- 26日、EU は、2020年の選挙を巡る治安当局による野党党员への政治暴力を受け、軍・治安部門改革(RSS)支援における司法警察への支援を中断。

#### 【経済(経済協力含む)】

- 6日、米はギニア及びコンゴ民主共和国のエボラ出血熱感染拡大予防対策として、USAID を通じて350万ドルの支援を発表。
- 15日、ディアビー公共事業大臣は、中国政府とギニア政府が出資し、中国企業 China Road and Bridge Corp (CRBC) が工事を実施したコヤ＝キンディア＝マムー＝ダボラ間370km の道路改修工事(約46億円規模)の進捗に関し、全く満足していない旨発言。
- 15日、仏開発機構(AFD)は、ギニアの教育分野を担う3省(国民教育・識字教育省、高等教育・科学研究省及び技術教育・職業訓練・労働・雇用省)の2020－2029年の能力強化のため、750万ユーロの財政支援を発表。
- 19日、キンディアにて、ギラヴォギ環境・水・森林大臣、マガスバ鉱山・地質大臣及びミリモノ農業・畜産大臣出席の下、Winning Consortium Simandou (WCS :ウィニング・シマンドゥ合同会社)による11.6kmのトンネル工事開始式が実施された。

### 1 内政

- ・ 2日、ギニアにおける新型コロナウイルス感染拡大状況を分析している科学評議会は、検査での陽性率が2%から10%に上昇している事実及び新規感染者数が前の週と比較して77.4%に上がったこと等から、ギニアに第二波が到来していると警鐘を鳴らし、感染防止対策強化を求めた。
- ・ 2日、国立税評議会は、地方分散化した管理体制の下、税収入を2倍に増加する旨合意した。
- ・ 3日、ラマ保健大臣、カバ外務・在外自国民大臣及び黄巍在ギニア中国大使は、新型コロナウイ

ルス中国製ワクチン「シノファーム」20万回分の到着に際し、空港で出迎えた。

- ・ 4日、ディクシ第一審裁判所は、2020年10月から閉鎖されている2つの野党 UFDG 本部の開放要求を、「治安上の理由と審議不可能」により却下した。
- ・ 5日、新型コロナウイルス中国製ワクチン「シノファーム」の接種が開始され、ラマ保健大臣は、ワクチン接種は、第一段階として医療関係者、60歳以上の高齢者、戦略的職務従事者及び宗教指導者等に対し行われ、また、コナクリ内の最も影響を受けている地区から開始される旨発表した。
- ・ 6日、新型コロナウイルス・ロシア製ワクチン「スプートニクV」2万回分(30万回分購入した内の第一陣)が到着した。
- ・ 8日、ギニア出身の歴史家・作家のジブリル・タムシール・ニアネ氏が、セネガルのダカールにて死去した。ニアネ氏は1932年生まれで、代表作は「Soundjata, ou, L'épopée mandingue」。ハーバード大学及び東京大学の名誉教授であった。
- ・ 10日、コンデ大統領は、仏とギニアの住宅に関する問題を取り扱う事務局委員を任命した。
- ・ 11日、アマドゥ・シラ国民議会野党代表は、複数の議員とともに、刑務所を訪れ、UFDG のディアロ氏、バー氏、ジャーナリストのアマドゥ・ディアロ氏を含む拘束中の野党関係者55名と面会した。
- ・ 15日、ディアロ野党 UFDG 党党首は、バカヨコ・コートジボワール首相の葬儀出席のため、アビジャンへ渡航しようとしたところ、コナクリの空港にて拒否され、パスポートを没収された。
- ・ 16日、国民議会において、コンデ国土行政・地方分権大臣出席の下、カルーム地区に含まれていたカサ島を、独立したコナクリ市内6番目の地区に昇格させる法律が可決された。
- ・ 16日、国民議会にて、ソウ・スポーツ大臣によって提案された教育現場でのスポーツ活動に関する法律が可決された。同法律では、中・高等教育において授業に体育を導入すること、スポーツ活動のための資機材購入の資金確保及び体育を教える教師への研修等の実施を定めている。
- ・ 16日、第一回経済・社会・環境・文化評議会(CESEC)通常会議が開催された。
- ・ 17日、高等コミュニケーション局は、RFI、France24 及び新華社通信等を含む7社の海外メディアに対し、2021年のギニアにおける取材を承認した。
- ・ 19日、イスラム開発銀行幹部職員である、アマドゥ・チェルノ・ディアロ氏が新協力・アフリカ統合大臣に就任した。
- ・ 23日、新型コロナウイルス・ロシア製ワクチン「スプートニクV」1万回分が、ギニアに到着した。
- ・ 23日、ドゥンブヤ法務大臣は、2009年9月28日のコナクリスタジアムでの虐殺事件の司法プロセスを進めるための、第一回評議会を開催した。
- ・ 29日、MTN(当地シェア第2位の南ア系通信会社)の資金援助を受け、アフリカ連合から供与された新型コロナウイルス・アストラゼネカ製ワクチン6万9,000回分がギニアに到着した。なお、ラマ保健大臣によると、31日までに6万名がワクチンを接種し、29名(0.04%)に副作用が発生したが、全員が既に回復している由。

## 2 外交

- ・ 1日、コンデ大統領は、チャンバス国連西アフリカ・サヘル事務所長及び国連特別代表と面会した。

会談の内容は明らかになっていないものの、ギニアにおける選挙を巡る政治暴力について意見交換がなされた模様。

- ・ 1日、フォファナ首相は、マルタン在ギニア国連システムコーディネーターと面会し、エボラ出血熱再発に対する国連機関の対応及びギニアの人権状況等に関し、意見交換を行った。
- ・ 2日、エボラ出血熱感染予防のための対策協力会議がコナクリにて開催され、ファフォナ首相、シエラレオネ、リベリア、マリ、セネガル、コートジボワール、ギニアビサウの保健大臣または代表者、在ギニア外交団代表及び国際機関代表者他が出席した。
- ・ 4日、オグウェル感染症予防センター(CDC)アフリカ事務局長は、エボラ出血熱対策に関し、ギニアへの協力を表明した。
- ・ 8日、カーティス在ギニア米臨時大使は、野党政治家ママドゥ・シラ氏と面会し、拘束されている野党党员及び国内の人権問題に関し、意見交換を行った。
- ・ 16日、野党政治家ママドゥ・シラ氏が、ブルキナファソの野党政治家コンボイゴ氏とオンラインで協議をし、政情や二国間協力の可能性に関し、意見交換を行った。
- ・ 17日、コンデ大統領は、バカヨコ・コートジボワール首相の葬儀に出席するため、アビジャンを訪問した。
- ・ 17日、国民議会野党代表シラ氏は、イスパイエン在ギニア・モロッコ大使と面会し、二国間関係の歴史やギニアにおけるモロッコの支援に関し、意見交換を行った。
- ・ 23日、コンデ大統領及びカバ外務・在外自国民大臣は、ギニアを訪問中の Bogdanov ロシア外務副大臣と面会し、二国間関係や次回のロシア・アフリカフォーラム開催に関し、意見交換を行った。
- ・ 25日、Boukadom アルジェリア外務大臣によるギニア来訪に際し、コンデ大統領及びカバ外務・在外自国民大臣と面会し、二国間関係に関し意見交換を行った。
- ・ 26日、EU は、2020年の選挙を巡る治安当局による野党党员への政治暴力を受け、軍・治安部門改革(RSS)支援における司法警察への支援を中断した。

### 3 経済(経済協力含む)

- ・ 3日、当地主要メディアは、世界食料計画(WFP)が日本の支援により実施している食料安全保障及び栄養支援(100万ドル)に関し、事業内容を紹介するとともに、日本は在ギニア WFP にとって必要なドナーであり、これまでに1,500万ドルに上る支援(学校給食、低栄養治療・予防及び小規模農家支援事業)を通じて、ギニアの脆弱な人々のレジリエンスを直接強化している旨報じた。
- ・ 3日、パンを生産する工場における小麦粉の価格が、1袋250,000GNF から285,000GNF に上昇し、これに伴い、パンの市場価格が高騰した。工場関係者によると、小麦粉の価格高騰は、輸入品である小麦の価格及び輸送費用等が原因である模様。
- ・ 6日、米はギニア及びコンゴ民主共和国のエボラ出血熱感染拡大予防対策として、USAID を通じて350万ドルの支援を発表した。
- ・ 15日、ディアビー公共事業大臣は、中国政府とギニア政府が出資し、中国企業 China Road and Bridge Corp(CRBC)が工事を実施しているコヤ＝キンディア＝マムー＝ダボラ間370km の道路

改修工事(約46億円規模)の進捗に関し、全く満足していない旨述べた。工事開始から22カ月が経過しているものの、全工事の22%のみの進捗であり、33%の遅れが発生している。

- ・ 15日、仏開発機構(AFD)は、ギニアの教育分野を担う3省(国民教育・識字教育省、高等教育・科学研究省及び技術教育・職業訓練・労働・雇用省)の2020-2029年の能力強化のため、750万ユーロの財政支援を行った。
- ・ 16日、米はキンディアのサモレヤ軍キャンプにおいて、マリの安定化ミッションに参加するギニア国軍を支援するため、200万ドル規模のインフラ整備支援を実施した。
- ・ 17日、在ギニア・モロッコ大使は、カンカン地域に20メガワット規模の火力発電工場の設立を表明した。
- ・ 17日、産業・中小企業省は、民間企業及び国際金融公社(SFI)と共に、官民連携を通じて、ギニアにおける民間企業の競争力を高める目的で、ギニア・ビジネス・フォーラム(GBF)の活動を開始した。
- ・ 19日、キンディアにて、ギラヴォギ環境・水・森林大臣、マガスバ鉱山・地質大臣及びミリモノ農業・畜産大臣出席の下、Winning Consortium Simandou(WCS :ウィニング・シマンドゥ合同会社)による11.6kmのトンネル工事開始式が実施された。同トンネルは、シマンドゥ鉱山とフォレカリアを結ぶ600km以上に渡る採掘した鉱山を輸送するための鉄道の一部となる予定。